



第90号
ききょろく

Kanazawa Museum of History and
Maeda Tosanokami Family Archives Bulliten
前田土佐守家資料館だより
令和7年4月26日発行

令和7年度テーマ展 知行と禄

開催期間 令和7年4月26日(土)～令和8年3月22日(日)

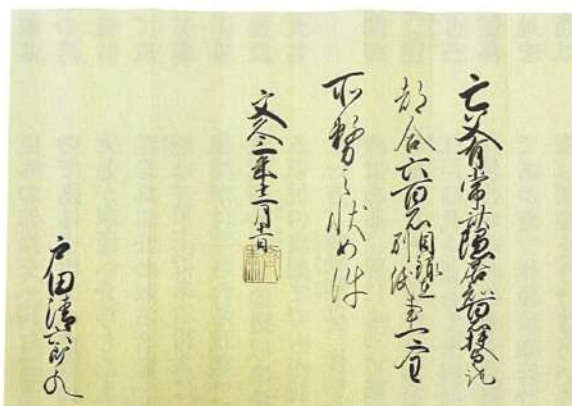
＜拡大展示期間 令和7年4月26日(土)～7月6日(日)＞

主催／前田土佐守家資料館（公益財団法人金沢文化振興財団）

協力／金沢市立玉川図書館近世史料館 後援／北國新聞社



ちぎょうところづけのこと
知行所附之事
(120石)



まえだなりやすちぎょうあてがいじょう
前田齊泰知行宛行状
(亡父隠居知扶与に付)

知行宛行状および所附は、主人から家臣へ、知行の付与に際して発行された文書である。

「前田齊泰知行宛行状（亡父隠居知扶与に付）」は、加賀藩主家13代 前田齊泰から平士の戸田清六郎に発給されたものである。父与一郎の隠居料100石を合わせ、知行600石を与える内容である。加賀藩特有の黄色に染色された料紙を使用している。

「知行所附之事（120石）」は、年寄衆 本多家4代 政質から家臣（加賀藩陪臣）の諏訪半平に発給されたものである。知行120石の内訳を記す。陪臣への知行給付の文書は、藩主から直臣（藩士）へ発給されたものに倣って作成された。（いずれも金沢市立玉川図書館近世史料館蔵）

開催にあたって

当館の「テーマ展」は、金沢や加賀藩の歴史を毎年異なるテーマで掘り下げる展示です。第一回となる今回は、武士身分の基本である「知行と禄」をとりあげます。

江戸時代の武士は、徳川將軍家を頂点として家臣団を構成し、主人への奉公の対価として「知行」や「禄」を与えられていました。それは彼らの収入源であるとともに、武士身分を規定する要素でもありました。金沢を含む地域では、前田家が加賀・能登・越中の三国を加賀藩として支配し、同じく家臣団を召し抱え、領知を家臣に分配していました。

本展では、とくに加賀藩について、「知行と禄」にまつわる制度や史料についてご紹介します。テーマ展を通して、なんとなく知っているつもりで知らなかった、改めて押さえておきたい基本的な事柄について学ぶ場をご提供できればと思います。江戸時代の武士について、また加賀前田家の城下町として栄えた金沢の歴史について、理解を深めていただく機会となれば幸いです。

最後となりましたが、本展の開催にあたり、ご協力いただきました関係各位に心よりお礼申し上げます。

令和七年四月二十六日

前田土佐守家資料館

前田土佐守家資料館

Kanazawa Museum of History and Maeda Tosanokami Family Archives

〒920-0981 石川県金沢市片町2-10-17

電話 076-233-1561 FAX 076-261-0806

<https://www.kanazawa-museum.jp/maedatosa/>



開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日 月曜(休日の場合はその直後の平日) 年末年始(12/29～1/3) 展示替え期間

観覧料金 ◆一般 …………… 310円 ◆65歳以上 …… 210円
◆団体(20名以上) …… 260円 ◆高校生以下 …… 無 料

起居録90号 令和7年4月26日発行 印刷／(株)橋本清文堂



金沢ミュージアム+

デジタルのチカラで
金沢市の多彩な
コレクション
見て触れて感じて

